



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

き さ き
木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

県立 武道館が開放 ネットカフェ難民など受け入れ開始

緊急事態宣言が出され、インターネットカフェなどの休業が相次ぎ、いわゆるネットカフェ難民の方の滞在先がなくなるという事態が発生しました。

神奈川県は、11日に、休館していた県立武道館（横浜市港北区）を開放。日本共産党神奈川県議団とともに現地調査を行いました。

すでに44人が利用

17日現在で44人が利用されていて、柔道場などの畳の上に災害用ベッドを置いて寝泊まりしています。この災害用ベッドは62床用意されているそうですが、今後定員がオーバーした際にどうするか、現場も不安に思っているとのことでした。

利用の際は、最初に簡単な質問と身分証を提示することで、どなたでも受け入れています。

利用者は、横浜市外の方もいますが、ほとんどがネットで情報をみてこられた方で、ネットにアクセスできない方への周知が必要です。

男女の動線に配慮、女性職員も配置

女性の利用者もいるため、寝泊まりする場所への動線は男女で別々になるように配慮し、日中は女性職員が最低1人はいるように体制をとっているとのことでした。ジェンダー平等の視点が入っているのはとても大事なことだと思います。

15日からは県生活援護課の職員さんも来て、福祉につながる相談を行うようになっていますが、多くの方が日中は働きに出ているという事もあり、相談窓口の時間に課題があるように感じます。



十分なスペースが取られた武道館内

空き家が多い県営住宅など活用を

発熱などの症状がみられる場合には、個別の部屋に移り様子を見るなどの対処もするようです。

感染拡大防止の観点から個室対応が一番望ましいと思いますので、例えば空き家の多くなった県営住宅に入居してもらおうなどの手立てが考えられないのかなど求めていきたいと思います。このほかにも、武道館にはエアコンがまだ設置されておらず、寒暖差が激しいこの時期、一刻も早く設置を進める必要があります。

平時から福祉につなげる取組を

改善の余地は多々あると思いますが、現場の職員の皆さんが一生懸命対応している姿には感謝の気持ちでいっぱいです。

平時から、しっかりと福祉につなげられていればこのような事態は避けられたかもしれません。引き続き、実効性のあるコロナ対策の実現を求めます。